

**福岡女子大学とUR都市機構が連携
～健康福祉の増進、コミュニティ形成を目指し、連携協定を締結～**

公立大学法人福岡女子大学（以下「福岡女子大学」といいます。）と独立行政法人都市再生機構九州支社（以下「UR都市機構」といいます。）は、相互に連携、協力することにより、UR賃貸住宅及びその周辺地域（以下「地域」といいます。）における少子化・高齢化などの諸課題に対応する取組みを協働して実施し、健康福祉の増進、良好なコミュニティ形成など、地域の活性化に貢献することを目的として、連携協定を締結します。

については、下記のとおり、連携協定書の調印式を開催しますので、ご案内申し上げます。

記

- 日 時 平成 26 年 11 月 25 日（火） 14 時 開始
- 会 場 福岡女子大学 地域連携センター 2 階 第 3 セミナー室（別添参照）
（住所：福岡市東区香住ヶ丘 1-1-1）
※自動車でお越しの場合は、地域連携センター前に駐車ください。
（入構手続き不要）
- 出席者 公立大学法人福岡女子大学 理事長兼学長 梶山 千里
独立行政法人都市再生機構九州支社長 内山 省吾

お問い合わせは下記へお願いします。

- 福岡女子大学
地域連携センター
（電話）092-661-2728
- UR都市機構九州支社
九州支社 住宅経営部 ストック活性化チーム
（電話）092-722-1049
九州支社 総務部 総務チーム
（電話）092-722-1004
URL : <http://www.ur-net.go.jp/kyusyu/>

1 背景・経緯

福岡女子大学は、国際化、多様化する社会の中で幅広く活躍できる女性リーダーの育成と地域社会の学術・文化・生活の振興の中心的役割を果たすことを目指し、さまざまな教育プログラムの充実を図るとともに、積極的に社会連携に取り組んできました。

UR都市機構は、その使命とする、高齢者をはじめ多世代がいつまでも安心して、ともに生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり（Aging in Place）を進めていくに当たり、福岡女子大学の持つ専門知識及び活力のある学生の力を活かすことによって、地域の諸課題に対応し、その活性化に繋げていきたいと考え、福岡女子大学と連携協定を締結することとしました。

2 連携協定の内容

- (1) 本協定は、福岡女子大学とUR都市機構（以下「両者」といいます。）が連携・協力することにより、団地における少子化・高齢化などの諸課題に対応し、地域住民の健康福祉の増進、良好なコミュニティ形成などを進めることにより、地域の活性化に貢献することを目的とします。
- (2) 両者は、この目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協力します。
 - ① 子育て支援、介護、高齢者支援などの地域福祉の推進に関する事項
 - ② 栄養管理、生活環境の改善を通じた地域住民の健康維持・増進に関する事項
 - ③ 地域情報の共有及び発信に関する事項
 - ④ 学生のアクティブラーニングなどに係る地域拠点の活用に関する事項
 - ⑤ その他両者の協議により、連携による取り組みが必要と認められる事項

3 福岡女子大学とUR都市機構の連携テーマ事例

(1) 学生によるUR賃貸住宅のリノベーションプランの提案

平成26年4月より、国際文理学部環境生活実習Ⅱ（森田 健教授）において、香椎若葉団地（福岡市東区）を題材とした集合住宅のリノベーションプランの検討と提案の演習を行いました。現在、当該演習の提案内容を取り入れたリノベーション住宅の工事を行っており、工事完了後、入居者募集を行う予定です。

入居者の募集に当たっては、事前に一般公開期間を設け、そこで得られたお客様のご意見なども今後の大学の研究及びリノベーションプランの検討の参考とする予定です。

(2) 冬季における高齢者の入浴環境調査

平成26年12月より、国際文理学部 大中 忠勝教授による高齢者の入浴習慣と居住温熱環境に関わる全国調査研究の一環として、団地にお住まいの高齢者の方を対象として、冬季の居室、脱衣所、浴室の室温等を測定することにより、高齢者の入浴環境の改善及び入浴事故の防止を図る研究を開始します。

4 今後の取組み

- ・福岡女子大学が持つ専門知識や研究施設を活用した高齢者支援、子育て支援などの取組みについて、大学全体として総合的・横断的に取り組んでいきます。
- ・福岡女子大学の学生と団地にお住まいの方が触れ合うことにより、学生自身が成長するアクティブラーニングの機会を創出します。
- ・URが学生と団地にお住まいの方の橋渡しを行い、団地における多世代間の交流を活発にし、コミュニティ活動を充実させていきます。
- ・両者の連携により、地域の活性化に資する活動の更なる展開などを実施していきます。

(現在検討中の連携企画)

- (1) 外国人留学生を含む学生が、団地に住む。多文化多世代共住コミュニティの形成
- (2) エコ診断に基づく生活スタイルの改善
- (3) 酸化ストレスの影響を加味した栄養・健康指導・セミナーの実施

【福岡女子大学の概要】(平成 26 年 5 月 1 日現在)

- 所在地 福岡市東区香住ヶ丘一丁目 1 番 1 号
- 理事長兼学長 梶山 千里
- 組織 大学院 文学研究科、人間環境学研究科
学部 国際文理学部
- 学生数 大学院：26 名 学部：1,008 名
(学部外国人留学生約 80 名、短期留学外国人学生約 25 名)
- 教育理念 ・国際化、多様化する社会の中で幅広く活躍できる女性リーダーの育成
・地域社会の学術・文化・生活の振興の中心的役割を果たす
- 教育上の特色 初年次全寮制(1 ユニット 4 名部屋の内 1 名は外国人：多文化理解)
国際化
体験学習

【UR都市機構九州支社の概要】(平成 26 年 3 月 31 日現在)

- 所在地 福岡市中央区長浜二丁目 2 番 4 号
- 支社長 内山 省吾
- 管理戸数 176 団地 49,533 戸
- 事業概要 都市再生：民間事業者や地方公共団体と連携し、都市再生を推進
住 宅：賃貸住宅ストックを適切に維持管理し、豊かな生活空間を提供
災害復興：都市の防災機能を強化し、被災地の復興をいち早く支援
郊外環境：豊かな自然環境と安心・快適な「新・郊外居住」を推進

別添

【調印式会場のご案内】

福岡女子大学 地域連携センター2階 第3セミナー室



※ 駐車場には限りがありますので、予め福岡女子大学地域連携センターまでお問い合わせください。

(地域連携センター : 092-661-2728)

公立学校法人福岡女子大学(福岡女子大学)と独立行政法人都市再生機構九州支社(UR都市機構)は、相互に連携、協力を図り、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域における少子化・高齢化などの地域における諸課題に対応する取組みを協働して実施することにより、地域住民の健康福祉の増進、良好なコミュニティ形成など、地域の活性化に貢献することを目的として、連携協定を締結します。



- 国際化、多様化する社会の中で幅広く活躍できる女性リーダーの育成
- 地域社会における学術・文化・生活の振興の中心的役割
- 大学の研究成果を社会に広く還元



——— 街に、ルネッサンス ———



- 高齢者がいつまでも安心して、生き生きと住み続けられる住まい・まちづくり(Aging in Place)
- 子育て支援・高齢者支援を通じて、多世代が支えあうミクストコミュニティの実現

UR賃貸住宅(団地)を舞台に展開

地域・コミュニティ

■ 大学の体験学習と初年次多文化共生寮などの教育プログラムを発展させ、外国人留学生を含む学生が地域と共に住むことを通じて高齢者・子育て支援など地域コミュニティの向上を図ります。

【具体的な取り組み】

- ☑ 集合住宅リノベーション提案
- ☑ 外国人留学生共住コミュニティ
- ☑ 朝食支援・買い物支援・学童支援

環境・エネルギー

■ 住環境の快適性、生活スタイルと省エネルギーの改善などに係る取組を実施します。

【具体的な取り組み】

- ☑ 高齢者を対象とした入浴環境の改善
- ☑ 環境エネルギーのエコ診断
- ☑ 快適性と省エネルギーの両立

栄養・健康

■ 福岡県は高齢化が進行しているだけでなく、健康寿命が全国的に低い地域です。地域住民が元気で長生きするために、栄養・健康支援に係る取組を実施します。また、食品の機能性・安全性に関わる情報提供等も積極的に行っていきます。

【具体的な取り組み】

- ☑ 食事と運動による健康管理
- ☑ 食品・栄養に関わる情報提供



1 先行取組事例 学生による集合住宅のリノベーションプランの提案

URが教材として香椎若葉団地(福岡市東区)の住宅の情報を提供し、大学はこれを題材として、若年層をターゲットとしたリノベーションプランの提案演習を実施しました。

今後、当該演習の提案内容を取り入れたリノベーションプランの工事・入居募集を開始する予定です。



公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

国際文理学部 環境生活演習Ⅱ(森田健教授)

- ライフスタイルの多様化やアジアを中心としたグローバル都市化など「福岡」に求められる新しい住まいのあり方をテーマとする演習。
- UR賃貸住宅を題材とした、若年層向けリノベーションプランの検討、提案。
- 12名の学生が、4グループに分かれ、それぞれ現実的プランと理想的プランを提案。

団地情報の提供など



若年層をターゲットとしたリノベーションプランの提案



- 若手職員による過去のリノベーションの事例説明。
- 既存プランの住戸見学会の実施。
- 「TSUTAYA × UR」などURのコラボ企画の紹介。
- 演習の提案内容を取り入れたプランの募集(予定)。



団地での演習、学生によるプレゼンテーションの様子

■ 香椎若葉団地

所在地 福岡市東区御島崎1丁目

交通 西鉄バス「香椎浜営業所」駅徒歩5分

管理開始 昭和54年2月

管理戸数 558戸

- ☑ 学生の教育機会の充実(女性リーダーの育成)
- ☑ 若年層の入居によるミクストコミュニティの形成

2 取組計画事例 冬季における高齢者の入浴環境調査

福岡女子大学とUR都市機構が連携し、団地にお住まいの高齢者の方を対象に、入浴環境と入浴習慣の調査、研究を行い、入浴事故の予防を目指します。

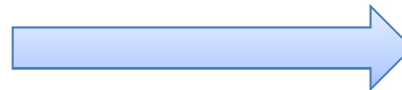
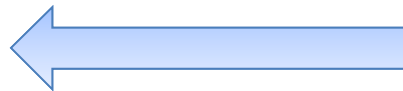


公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY

国際文理学部 大中忠勝教授

- 福岡県は昨年度約500名の方が浴室で死亡。(全国ワースト2位)
- 団地にお住まいの高齢者の方の入浴環境と入浴習慣を調査、研究。
- 北海道大学(札幌市)、秋田大学(秋田市)とともに3都市で実施し、研究成果を広く社会に還元。

団地にお住まいの方の参加



入浴環境、習慣の改善提案

お住まいの方



街に、ルネッサンス



UR 都市機構

- 団地にお住まいの高齢者の方へのご案内、参加の呼びかけ。
- 実施に係る準備、調整、サポート。



- ☑ 大学の研究成果を広く社会に還元
- ☑ 学生と高齢者のかかわりによる学生自身の成長の機会
(アクティブラーニング)
- ☑ 団地での“Aging in Place”の実現

この他にも「健康」「環境」「コミュニティ」をテーマにした連携企画を検討しています。

地域の活性化等の推進に係る福岡女子大学と都市再生機構連携協定書

公立大学法人福岡女子大学（以下「福岡女子大学」という。）と独立行政法人都市再生機構九州支社（以下「都市再生機構」という。）は、相互に連携、協力を図り、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域（以下総称して「地域」という。）の活性化等を推進するため、次のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、福岡女子大学及び都市再生機構が少子化・高齢化等地域における諸課題に対応する取組みを協働して実施することにより、健康福祉の増進、良好なコミュニティ形成等、地域の活性化に資することを目的とする。

（連携・協力事項）

第2条 福岡女子大学及び都市再生機構は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる項目（以下「連携・協力事項」という。）について相互に連携、協力を図りつつ推進するものとする。なお、具体的な取組み項目については、別途協議の上、定めるものとする。

- 一 子育て支援、介護、高齢者支援などの地域福祉の推進に関する事項
- 二 地域住民の健康維持・増進に関する事項
- 三 地域情報の共有及び発信に関する事項
- 四 地域拠点の活用に関する事項
- 五 その他両者の協議により、連携による取組みが必要と認められる事項

（連絡会議の設置）

第3条 福岡女子大学及び都市再生機構は、前条の連携・協力事項を円滑かつ着実に推進するため、連絡会議を設置し、連携方策や実施内容等について協議するほか、相互の取組みに関する状況報告及び意見交換を行うものとする。

（費用負担等）

第4条 福岡女子大学及び都市再生機構は、連携・協力事項の実施に当たり、必要に応じて役割分担、費用負担等を別途協議の上、定めるものとする。

（有効期間）

第5条 本協定の有効期間は、協定締結日から平成29年3月31日までとする。ただし、本協定の有効期間満了の日の1か月前までに福岡女子大学と都市再生機構のいずれからも申し出がないときは、さらに1年間更新するものとし、その後も同様とする。

（協議）

第6条 本協定に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、両者が協議の上、定めるものとする。

本協定締結の証として、本書2通を作成し、福岡女子大学と都市再生機構双方署名押印の上、各自1通を保有する。

平成26年11月25日

公立大学法人福岡女子大学
理事長兼学長

独立行政法人都市再生機構九州支社
支社長